

1. 化学物質等及び会社情報

1-1. 製品名称

Binding Matrix (Cat#6540-408)

1-2. 製品内容

FastDNA™ SPIN Kit for Soil用付属品

1-3. 推奨用途及び使用上の制限

分析用試薬、実験用試薬

1-4. 供給者の詳細

会社名 : 株式会社エムピーバイオジャパン
住所 : 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-7-14 セブンビル4F
電話番号 : 03-6667-0730
FAX番号 : 03-6667-0733

1-5. 緊急電話番号

03-6667-0730

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性

引火性液体 : 分類できない
金属腐食性物質 : 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分4
急性毒性(経皮) : 分類できない
急性毒性(吸入: 気体) : 分類対象外
急性毒性(吸入: 蒸気) : 区分4
急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性・刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
授乳に対する影響 : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 分類できない
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 分類できない
水生環境慢性有害性 : 区分3
オゾン層破壊物質 : 分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示



注意喚起語

- 警告

危険有害性情報

- 飲み込んだり吸入すると有害 (H302+H332)
- 皮膚刺激 (H315)
- 強い眼刺激 (H319)
- 長期継続的影響により水生生物に有害 (H412)

注意書き

安全対策

- ・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(H261)
- ・ 取扱い後は手をよく洗うこと。(H264)
- ・ この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(H270)
- ・ 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(H271)
- ・ 環境への放出を避けること。(H273)
- ・ 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(H280)

救急処置

- ・ 飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。(P301+P312)
- ・ 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。(P302+P352)
- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ・ 気分が悪いときは、医師に連絡すること。(P312)
- ・ 口をすすぐこと。(P2330)
- ・ 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。(P332+P313)
- ・ 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。(P337+P313)
- ・ 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

廃棄

- ・ 内容物や容器の廃棄を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

2-3. 結果として分類されないその他の危険有害性 情報なし。

3. 組成及び成分情報

3-1. 化学物質

本製品は単一化合物ではない。

3-2. 混合物

本製品は以下の成分を含有する混合物：

化学名	CAS番号	含有量 (wt%)
グアニジンチオソアネート	593-84-0	60～70%
精製水	7732-18-5	10～20%
MPシリカ	7631-86-9	10～20%

4. 応急措置

4-1. 必要な応急措置

飲み込んだ場合

- ・ 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・ 気分が悪い時は医師に連絡すること。

吸入した場合

- ・ 空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・ 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- ・ 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合

- ・ 水で数分間注意深く洗うこと。
- ・ コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

4-2. 最も重要な急性と発症の遅い症状／影響

情報なし。

4-3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

情報なし。

5. 火災時の措置

5-1. 適切な消火剤

- ・ 二酸化炭素、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、乾燥砂類。

5-2. 化学品から生じる特定の危険性

- ・ 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- ・ 消火水は汚染を引き起こすおそれがある。

5-3. 消防士用の特別な防具と予防措置

- ・ 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
- ・ 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- ・ 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

6-1. 人への予防措置、防具、および応急処置法

- ・ 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- ・ 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
- ・ 関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・ 風上から作業する。

6-2. 環境上の予防措置

- ・ 環境中に放出してはならない。

6-3. 封じ込めと流出物洗浄の方法および用具

- ・ 粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。漏出した場所は水で洗い流す。
- ・ 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管

7-1. 安全な取扱いのための予防措置

技術的対策

- ・ 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
- ・ 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・ よく換気された場所で使用する。

安全取扱い注意事項

- ・ 眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。
- ・ 本製品に接触したり、これの吸入、飲み込みをしてはならない。
- ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

7-2. 混触危険性を含む、安全な保管条件

適切な保管条件

- ・ 15～30℃にて換気の良い場所で貯蔵すること。
- ・ 混合危険物質から離して保管する。
- ・ 直射日光・高温・火気を避けること。
- ・ 施錠して貯蔵すること。

8. ばく露防止及び保護措置

8. 暴露制御および保護措置

8-1. 管理パラメーター

情報なし。

8-2. 適切な工学的管理方法

- ・ この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

8-3. 個人保護措置

呼吸器の保護具	: 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	: 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	: 懸濁液
臭い	: データなし
臭いのしきい(閾)値	: データなし
融点	: データなし
引火点	: データなし
爆発限界	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度(空気 = 1):	: データなし
比重(密度)	: データなし
溶解性	: データなし
オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
蒸発速度(酢酸ブチル = 1)	: データなし
燃焼性(固体、ガス)	: データなし
粘度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

製品は化学的に安定している。

避けるべき条件

高温、炎、日光、長期間空気に晒すこと。

混触危険物質

強酸、強酸化剤、水反応性化合物。

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、アンモニア、シアン化物。

11. 有害性情報

11-1. 成分の健康有害性情報 (GHS 分類)

1) グアニジンチオソアナート

急性毒性(経口)	: 区分4
急性毒性(吸入:蒸気)	: 区分4
皮膚腐食性・刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分2A

12. 環境影響情報

12-1. 成分の環境有害性情報

- ・混合物としての情報なし。

13. 廃棄上の注意

13-1. 廃棄方法

残余廃棄物

- ・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

- ・容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

14-1. 国連番号

該当なし。

14-2. 使用者のための特別予防措置

- ・輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- ・重量物を上積みしない。

15. 適用法令

15-1. 適用法令対象成分

1) シリカ(二酸化ケイ素)

- ・労働安全衛生法: 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、政令第18条第1号別表第9の312)
- ・労働安全衛生法: 名称等を通知すべき危険物及び有害物(政令第18の2条第1号別表第9の312)

16. その他の情報

参考ウェブサイト

- 1) (独)製品評価技術基盤機構
- 2) 経済産業省
- 3) 厚生労働省
- 4) 安全衛生情報センター

※ この製品安全データシートは、現時点で入手できる資料・文献等に基づいて作成しておりますが、すべての情報を網羅した訳ではありません。従いまして、取り扱いには十分ご注意ください。また、記載内容はあくまでも情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

1. 化学物質等及び会社情報

1-1. 製品名称

PPS Bulk (Cat#6540-X03)

1-2. 製品内容

FastDNA™ SPIN Kit for Soil用付属品(安定化剤)

1-3. 推奨用途及び使用上の制限

分析用試薬、実験用試薬

1-4. 供給者の詳細

会社名 : 株式会社エムピーバイオジャパン
住所 : 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-7-14 セブンビル4F
電話番号 : 03-6667-0730
FAX番号 : 03-6667-0733

1-5. 緊急電話番号

03-6667-0730

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性

引火性液体 : 分類できない
金属腐食性物質 : 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外
急性毒性(経皮) : 区分4
急性毒性(吸入:気体) : 分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性・刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
授乳に対する影響 : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 区分2(呼吸器系、血液)
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 分類できない
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 分類できない
水生環境慢性有害性 : 分類できない
オゾン層破壊物質 : 分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示



注意喚起語

- 警告

危険有害性情報

- 皮膚に接触すると有害 (H312)
- 皮膚刺激 (H315)
- 強い眼刺激 (H319)
- 呼吸器系、血液の障害のおそれ (H371)

注意書き

安全対策

- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
- ・取扱後は手をよく洗うこと。(P264)
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

救急処置

- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。(P302+P352)
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
- ・気分が悪いときは、医師に連絡すること。(P312)
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。(P332+P313)
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。(P337+P313)
- ・汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

保管

- ・施錠して保管すること。(P405)

廃棄

- ・内容物や容器の廃棄を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

2-3. 結果として分類されないその他の危険有害性

情報なし。

3. 組成及び成分情報

3-1. 化学物質

本製品は単一化合物ではない。

3-2. 混合物

本製品は以下の成分を含有する混合物：

化学名	CAS番号	含有量 (wt%)
精製水	7732-18-5	60～70%
酢酸カリウム	127-08-2	30～40%
氷酢酸	64-19-7	1～5%

4. 応急措置

4-1. 必要な応急措置

飲み込んだ場合

- ・口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・気分が悪い時は医師に連絡すること。

吸入した場合

- ・空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- ・医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合

- ・水で数分間注意深く洗うこと。
- ・コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・医師の診断／手当てを受けること。

4-2. 最も重要な急性と発症の遅い症状／影響

情報なし。

4-3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

情報なし。

5. 火災時の措置

5-1. 適切な消火剤

- ・二酸化炭素、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、乾燥砂類。

5-2. 化学品から生じる特定の危険性

- ・火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- ・消火水は汚染を引き起こすおそれがある。

5-3. 消防士用の特別な防具と予防措置

- ・移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
- ・消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- ・消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

6-1. 人への予防措置、防具、および応急処置法

- ・ 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- ・ 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
- ・ 関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・ 風上から作業する。

6-2. 環境上の予防措置

- ・ 環境中に放出してはならない。

6-3. 封じ込めと流出物洗浄の方法および用具

- ・ 粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。漏出した場所は水で洗い流す。
- ・ 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管

7-1. 安全な取扱いのための予防措置

技術的対策

- ・ 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
- ・ 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・ よく換気された場所で使用する。

安全取扱い注意事項

- ・ 眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。
- ・ 本製品に接触したり、これの吸入、飲み込みをしてはならない。
- ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

7-2. 混触危険性を含む、安全な保管条件

適切な保管条件

- ・ 15～30℃にて換気の良い場所で貯蔵すること。
- ・ 混合危険物質から離して保管する。
- ・ 直射日光・高温・火気を避けること。
- ・ 施錠して貯蔵すること。

8. ばく露防止及び保護措置

8. 暴露制御および保護措置

8-1. 管理パラメーター

1) 酢酸

- ・ 許容濃度
日本産業衛生学会 : 10ppm、25mg/m³
ACGHI : 10ppm (TWA)、15ppm (STEL)

8-2. 適切な工学的管理方法

- ・ この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

8-3. 個人保護措置

- | | |
|------------|--------------------------|
| 呼吸器の保護具 | : 適切な呼吸器保護具を着用すること。 |
| 手の保護具 | : 適切な保護手袋を着用すること。 |
| 眼の保護具 | : 適切な眼の保護具を着用すること。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。 |

9. 物理的及び化学的性質

- | | |
|-----------------|----------|
| 物理的状态 | : 無色透明液体 |
| 臭い | : データなし |
| 臭いのしきい(閾)値 | : データなし |
| 融点 | : データなし |
| 引火点 | : データなし |
| 爆発限界 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度(空気 = 1): | : データなし |
| 比重(密度) | : データなし |
| 溶解性 | : データなし |
| オクタノール/水分配係数 | : データなし |
| 自然発火温度 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 蒸発速度(酢酸ブチル = 1) | : データなし |
| 燃焼性(固体、ガス) | : データなし |
| 粘度 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

安定性

製品は化学的に安定している。

避けるべき条件

高温、炎、日光、長期間空気に晒すこと。

混触危険物質

強酸化剤、水反応性化合物。

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素。

11. 有害性情報

11-1. 成分の健康有害性情報 (GHS 分類)

1) 酢酸カリウム

急性毒性(経口) : 区分5

2) 酢酸

急性毒性(経皮) : 区分4

皮膚腐食性・刺激性 : 区分1

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分1

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 区分1(呼吸器系、血液)

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 区分2(腎臓)

12. 環境影響情報

12-1. 成分の環境有害性情報

- ・混合物としての情報なし。

13. 廃棄上の注意

13-1. 廃棄方法

残余廃棄物

- ・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

- ・容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

14-1. 国連番号

該当なし。

14-2. 使用者のための特別予防措置

- ・輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- ・重量物を上積みしない。

15. 適用法令

15-1. 適用法令対象成分

1) 酢酸

- ・労働安全衛生法：名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、政令第18条第1号別表第9の176)
- ・労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物及び有害物(政令第18の2条第1号別表第9の176)

16. その他の情報

参考ウェブサイト

- 1) (独)製品評価技術基盤機構
- 2) 経済産業省
- 3) 厚生労働省
- 4) 安全衛生情報センター

※ この製品安全データシートは、現時点で入手できる資料・文献等に基づいて作成しておりますが、すべての情報を網羅した訳ではありません。従いまして、取り扱いには十分ご注意ください。また、記載内容はあくまでも情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

1. 化学物質等及び会社情報

1-1. 製品名称

MT Buffer (Cat#6511-202)

1-2. 製品内容

FastDNA™ SPIN Kit for Soil用バッファー

1-3. 推奨用途及び使用上の制限

分析用試薬、実験用試薬

1-4. 供給者の詳細

会社名 : 株式会社エムピーバイオジャパン
住所 : 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-7-14 セブンビル4F
電話番号 : 03-6667-0730
FAX番号 : 03-6667-0733

1-5. 緊急電話番号

03-6667-0730

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性

引火性液体 : 分類できない
金属腐食性物質 : 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外
急性毒性(経皮) : 区分外
急性毒性(吸入: 気体) : 分類対象外
急性毒性(吸入: 蒸気) : 分類できない
急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分外
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
授乳に対する影響 : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 分類できない
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 区分2
水生環境慢性有害性 : 分類できない
オゾン層破壊物質 : 分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示

・ 記載事項なし。

注意喚起語

・ 記載事項なし。

危険有害性情報

・ 水生生物に毒性

注意書き

安全対策

・ 環境への放出を避けること。

救急処置

・ 記載事項なし。

保管

・ 記載事項なし。

廃棄

・ 内容物や容器の廃棄を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

2-3. 結果として分類されないその他の危険有害性
情報なし。

3. 組成及び成分情報

3-1. 化学物質

本製品は単一化合物ではない。

3-2. 混合物

本製品は以下の成分を含有する混合物:

化学名	CAS番号	含有量 (wt%)
精製水	7732-18-5	90~95%
エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム塩二水和物	6381-92-6	1~5%
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	1~5%
ポリビニルピロリドン	9003-39-8	2.5~10%
無機塩(社外秘)	-	1~2.5%

4. 応急措置

4-1. 必要な応急措置

飲み込んだ場合

- ・口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・気分が悪い時は医師に連絡すること。

吸入した場合

- ・空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- ・皮膚刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合

- ・水で数分間注意深く洗うこと。
- ・コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・医師の診断／手当てを受けること。

4-2. 最も重要な急性と発症の遅い症状／影響

情報なし。

4-3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

情報なし。

5. 火災時の措置

5-1. 適切な消火剤

- ・二酸化炭素、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、乾燥砂類。

5-2. 化学品から生じる特定の危険性

- ・火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- ・消火水は汚染を引き起こすおそれがある。

5-3. 消防士用の特別な防具と予防措置

- ・移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
- ・消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- ・消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

6-1. 人への予防措置、防具、および応急処置法

- ・作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- ・漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
- ・関係者以外の立入りを禁止する。
- ・風上から作業する。

6-2. 環境上の予防措置

- ・環境中に放出してはならない。

6-3. 封じ込めと流出物洗浄の方法および用具

- ・粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。漏出した場所は水で洗い流す。
- ・排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管

7-1. 安全な取扱いのための予防措置

技術的対策

- ・ 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
- ・ 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・ よく換気された場所で使用する。

安全取扱い注意事項

- ・ 眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。
- ・ 本製品に接触したり、これの吸入、飲み込みをしてはならない。
- ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

7-2. 混触危険性を含む、安全な保管条件

適切な保管条件

- ・ 15～30℃にて換気の良い場所で貯蔵すること。
- ・ 混合危険物質から離して保管する。
- ・ 直射日光・高温・火気を避けること。
- ・ 施錠して貯蔵すること。

8. ばく露防止及び保護措置

8. 暴露制御および保護措置

8-1. 管理パラメーター

- ・ 該当成分なし。

8-2. 適切な工学的管理方法

- ・ この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

8-3. 個人保護措置

呼吸器の保護具	: 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	: 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 無色透明液体
臭い	: データなし
臭いのしきい(閾)値	: データなし
融点	: データなし
引火点	: データなし
爆発限界	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度(空気 = 1):	: データなし
比重(密度)	: データなし
溶解性	: データなし
オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
蒸発速度(酢酸ブチル = 1)	: データなし
燃焼性(固体、ガス)	: データなし
粘度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

製品は化学的に安定している。

避けるべき条件

高温、炎、日光、長期間空気に晒すこと。

混触危険物質

強酸化剤、水反応性化合物。

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物。

11. 有害性情報

11-1. 成分の健康有害性情報 (GHS 分類)

1) ドデシル硫酸ナトリウム

急性毒性(経口)	: 区分4
急性毒性(経皮)	: 区分3
皮膚腐食性・刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分2
生殖細胞変異原性	: 区分2

- 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 区分2(腎臓)

12. 環境影響情報

12-1. 成分の環境有害性情報

- ・混合物としての情報なし。

13. 廃棄上の注意

13-1. 廃棄方法

残余廃棄物

- ・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

- ・容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

14-1. 国連番号

該当なし。

14-2. 使用者のための特別予防措置

- ・輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・重量物を上積みしない。

15. 適用法令

15-1. 適用法令対象成分

1) ドデシル硫酸ナトリウム

- ・化管法(PRTR法) : 第一種指定化学物質(政令番号: 1-275)

16. その他の情報

参考ウェブサイト

- 1) (独)製品評価技術基盤機構
- 2) 経済産業省
- 3) 厚生労働省
- 4) 安全衛生情報センター

※ この製品安全データシートは、現時点で入手できる資料・文献等に基づいて作成しておりますが、すべての情報を網羅した訳ではありません。従いまして、取り扱いには十分ご注意ください。また、記載内容はあくまでも情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。